

令和5年上半期

火災と救急・救助の概要



三木市消防本部

令和5年上半期火災と救急・救助の概要

この統計は、令和5年1月1日から令和5年6月30日までの上半期に三木市で発生した火災・救急・救助を集計したものです。

[目 次]

火 災 概 要

1	火災種別件数（対前年比）	1
2	火災概要（対前年比）	2
3	署別火災件数	3
4	地区別火災件数	3
5	月別火災件数	3
6	曜日別火災件数	4
7	時間別火災件数	4
8	覚知別火災件数	4
9	原因別火災件数	5
10	初期消火の状況	5
11	死者の状況	6
12	消防部隊出動状況	6
13	高速道路別出動状況	6

救 急 概 要

1	救急出場件数	7
2	事故種別救急活動状況	8
3	地区別救急出場件数	8
4	曜日別救急出場件数	9
5	月別救急出場件数	9
6	時間別救急出場件数	9
7	傷病程度別搬送人員	10
8	年齢別搬送人員	10
9	性別・科目別搬送人員	10
10	応急処置件数	11

救 助 概 要

1	救助出動状況	12
2	発生場所別出動件数	12
3	事故種別地区別活動状況	13

令和5年上半期の火災概要

本年上半期（1月～6月）に発生した火災件数は25件で、前年と比べ10件減少しました。

火災種別では、建物火災が13件減少して5件（20%）、林野火災は6件減少して1件（4%）、車両火災は1件増加して5件（20%）、その他火災は8件増加して14件（56%）となっています。

建物焼損棟数は7棟で、全焼1棟、半焼0棟、部分焼2棟、ぼや4棟、り災世帯は1世帯、り災人員は3人です。

建物焼損面積は21㎡（前年3,058㎡）で減少しました。

火災損害額は10,867千円（前年61,634千円）で減少しています。

1 火災種別件数（対前年比）

発生年	令和5年	令和4年	比較
出火件数	25件	35件	△10件
火災種別	建物	18	△13件
	林野	7	△6件
	車両	4	1件
	船舶	0	0件
	その他	14	6

（△印は減少）

2 火災概要（対前年比）

出火件数は、前年に比べると10件減少しています。

区 分	単 位	令和5年	令和4年	比 較
出 火 件 数	件	25	35	△ 10
建 物	〃	5	18	△ 13
住 宅	〃	1	10	△ 9
工 場	〃	1	3	△ 2
そ の 他	〃	3	5	△ 2
林 野	〃	1	7	△ 6
車 両	〃	5	4	1
船 舶	〃	0	0	0
そ の 他	〃	14	6	8
損 害 額	千円	10,867	61,634	△ 50,767
建 物	〃	706	52,496	△ 51,790
建 物	〃	0	32,685	△ 32,685
収 容 物	〃	706	19,811	△ 19,105
林 野	〃	0	0	0
車 両	〃	1,007	6,330	△ 5,323
船 舶	〃	0	50	△ 50
そ の 他	〃	9,154	2,758	6,396
爆 発	〃	0	0	0
建 物 焼 損 棟 数	棟	7	43	△ 36
全 焼	〃	1	24	△ 23
半 焼	〃	0	0	0
部 分 焼	〃	2	11	△ 9
ぼ や	〃	4	8	△ 4
爆 損	棟	0	0	0
損 害 棟 数	棟	0	0	0
車 両 等 数	台	0	0	0
焼 損	m ²	21	3,058	△ 3,037
建 物 床 面 積	m ²	21	3,058	△ 3,037
建 物 表 面 積	〃	14	122	△ 108
林 野	a	21	60	△ 39
車 両	台	4	21	△ 17
船 舶	台	0	1	△ 1
負 傷 者	人	3	6	△ 3
死 者	〃	0	4	△ 4
り 災 世 帯	世帯	1	15	△ 14
全 損	〃	0	6	△ 6
半 損	〃	0	0	0
小 損	〃	1	9	△ 8
り 災 人 員	人	3	27	△ 24
建 物 1 件 当 た り の 損 害 額	千円	141	2,916	△ 2,775
〃 焼 損 床 面 積	m ²	4	170	△ 166

※損害額については、調査中3件を除く。

(△印は減少)

3 署別火災件数

前年同期比で、本署管内は4件減少、広野管内は2件減少、吉川分署管内は4件減少しています。

種 別		建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	合計
署 別	年						
本 署	5年	5	1	2	0	9	17
	4年	12	4	2	0	3	21
広野分署	5年	0	0	3	0	2	5
	4年	4	1	0	0	2	7
吉川分署	5年	0	0	0	0	3	3
	4年	2	2	2	0	1	7
合 計	5年	5	1	5	0	14	25
	4年	18	7	4	0	6	35

4 地区別火災件数

三木南、別所、細川、青山地区で増加しています。

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川	緑が丘	自由が丘	青山	吉川	合計
5年	7	2	6	1	3	0	0	1	2	3	25
4年	9	0	5	7	2	0	1	4	0	7	35

5 月別火災件数

3月が8件と最も多く発生しています。

月	1	2	3	4	5	6	合計
5年	4	4	8	5	3	1	25
4年	8	6	2	10	4	5	35

6 曜日別火災件数

火曜日が6件と最も多く発生しています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	不明	合計
5年	5	3	6	3	5	2	1	0	25
4年	5	3	8	5	4	5	5	0	35

7 時間別火災件数

14時、15時台が4件と最も多く発生しています。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
5年	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	2	3
4年	1	0	0	1	2	1	0	1	3	1	3	0

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明	合計
1	3	4	4	1	0	1	3	1	0	0	1	0	25
1	4	4	1	2	2	2	1	0	1	1	3	0	35

8 覚知別火災件数

携帯電話の通報が13件と最も多くなっています。

種別	119 (固定)	119 (携帯)	加入 電話	警察 電話	駆け つけ	事後 聞知	その他	合計
5年	6	13	2	0	0	4	0	25
4年	7	16	4	0	0	5	3	35

9 原因別火災件数

たき火が8件で、前年と同様出火原因のトップです。

原因別	5年	4年	原因別	5年	4年
たばこ	2	1	配線器具	0	0
こんろ	0	2	火あそび	0	0
かまど	0	0	マッチ・ライター	0	1
風呂かまど	0	0	たき火	8	8
炉	0	0	溶接機・切断機	1	0
焼却炉	0	0	灯火	0	0
ストーブ	1	1	衝突の火花	0	1
こたつ	0	0	取灰	0	0
ボイラー	0	0	火入れ	0	0
煙突・煙道	0	0	放火	1	0
排気管	0	0	放火の疑い	0	1
電気機器・装置	2	3	その他	7	2
電灯・電話配線	2	3	不明	0	11
内燃機関	0	0	調査中	1	1
			合計	25	35

たき火欄内訳	5年	4年
たき火	1	6
虫焼火	7	2
合計	8	8

10 初期消火の状況

住民等による初期消火が行われたのは、25件中16件です。

区分	初期消火の状況							初期消火なし	合計
	消防用設備	消火器	水道・浴槽・汲み置きの水	寝具・衣類等をか	もみ消した	その他	小計		
5年	0	5	4	0	2	5	16	9	25
4年	0	5	3	1	1	7	17	18	35

11 死者の状況

死者の発生はありません。

12 消防部隊出動状況

種別 \ 署別	本署	広野分署	吉川分署	合計
部隊	57	24	39	120
偵察	21	8	9	38
警戒	36	16	30	82
応援	0	0	0	0
風水害	0	0	0	0

(救助は除く)

- ※ 「偵察」 偵察・煙火・自動火災報知設備・誤報・捜索・異臭の調査等
「警戒」 救急支援・油処理・ガス漏洩・その他（へり誘導）の活動等
「応援」 近隣応援(市外、管轄高速道等)・緊急消防援助隊の出動等

13 高速道路別出動状況

道別 \ 種別	火災	救急	救助	偵察	警戒	応援	風水害	合計
中国道	0	4	0	1	2	0	0	7
舞鶴若狭道	0	0	0	0	0	0	0	0
山陽道	1	12	1	1	1	0	0	16
合計	1	16	1	2	3	0	0	23

令和5年上半期の救急概要

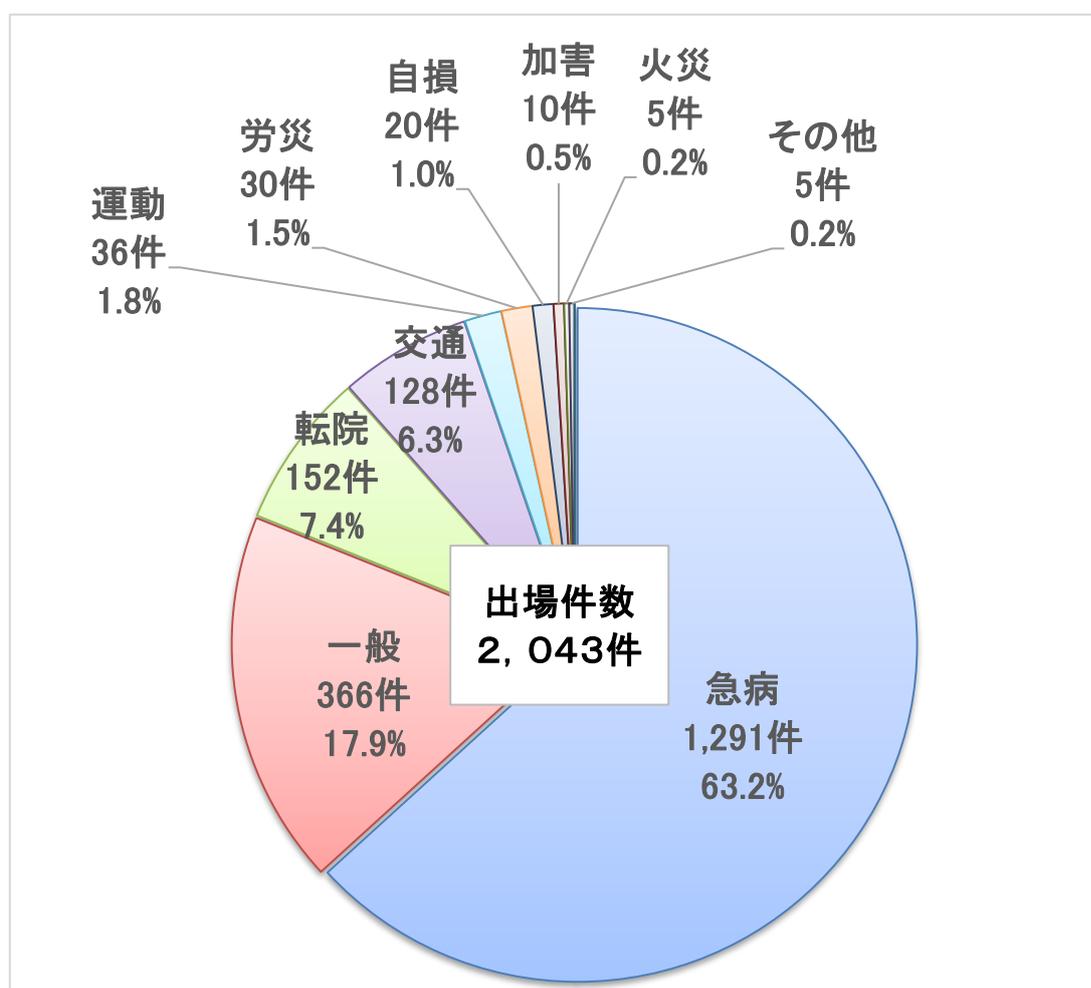
令和5年上半期（1月～6月）の救急出場件数は2,043件で、前年の2,081件に比べ38件減少しています。

搬送人員は1,861人で、昨年の1,901人に比べ40人の減少となっています。

事故種別出場件数は、急病が1,291件（63.2%）で最も多く、一般負傷366件（17.9%）、転院搬送152件（7.4%）、交通事故128件（6.3%）の順となっています。

事故種別による件数を昨年と比較すると、急病58件、転院搬送16件の減少、運動27件、一般負傷16件の増加となっています。

1 救急出場件数



2 事故種別救急活動状況

		救急出場件数			搬送人員			
		5年	4年	比較	5年	4年	比較	
事故種別	火災	5	19	△ 14	3	7	△ 4	
	自然災害	0	0	0	0	0	0	
	水難	0	1	△ 1	0	1	△ 1	
	交通	128	132	△ 4	120	125	△ 5	
	労働災害	30	26	4	29	24	5	
	運動競技	36	9	27	35	9	26	
	一般負傷	366	350	16	321	328	△ 7	
	加害	10	11	△ 1	10	9	1	
	自損行為	20	14	6	15	12	3	
	急病	1,291	1,349	△ 58	1,176	1,219	△ 43	
	その他	転院搬送	152	168	△ 16	152	167	△ 15
		医師搬送	0	0	0	0	0	0
		資器材輸送	0	0	0	0	0	0
その他		5	2	3	0	0	0	
合計		2,043	2,081	△ 38	1,861	1,901	△ 40	
不搬送		193	193	0				
管外搬送					1,212	1,437	△ 225	

※管外搬送人員には、北播磨総合医療センターを含みます。(△印は減少)

3 地区別救急出場件数

地区	三木	三木南	別所	志染	細川	口吉川
5年	582	192	208	125	75	46
4年	603	190	184	153	72	37

緑が丘	自由が丘	青山	吉川	その他	合計
214	281	107	194	19	2,043
237	312	71	206	16	2,081

4 曜日別救急出場件数

金曜日が最も多く、最も少ないのは火曜日となっています。

曜日	日	月	火	水	木	金	土	合計
5年	277	298	267	303	294	307	297	2,043
4年	294	302	292	307	309	274	303	2,081

5 月別救急出場件数

1月が最も多く、最も少ないのは5月です。

1ヶ月平均341件、1日平均では11.3件出場しています。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	合計
5年	394	324	345	321	320	339	2,043
4年	359	305	388	319	374	336	2,081

6 時間別救急出場件数

9時台の159件が最も多く、次に11時台の145件で、最も少ないのは4時台の25件で、次に3時台の26件です。

時間	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
5年	38	30	36	26	25	27	44	78	114	159	124	145
4年	24	23	24	34	31	36	64	76	102	167	166	142

12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	合計
133	125	122	105	113	127	86	109	92	65	65	55	2,043
142	135	121	125	113	104	115	98	75	72	44	48	2,081

7 傷病程度別搬送人員

傷病程度別では、軽症が53.9%を占めています。

単位：人

程度	死 亡	重 症	中等症	軽 症	その他	合 計
5年	30	57	770	1004	0	1,861
4年	26	51	858	966	0	1,901

8 年齢別搬送人員

高齢者（65歳以上）が最も多く、搬送人員の67.8%を占めています。

単位：人

年齢	新生児	乳幼児	少 年	成 人	高齢者	合 計
	(生後28日未満)	(28日～6歳)	(7歳～17歳)	(18歳～64歳)	(65歳以上)	
5年	1	73	79	447	1,261	1,861
4年	1	47	53	504	1,296	1,901

9 性別・科目別搬送人員

昨年と比べると男性が30人、女性が10人の減少となっています。

科目別では、内科981人、整形外科350人、脳神経外科299人の順となっています。

単位：人

科目	外 科		整形外科		脳神経外科		内 科		小児科		精神神経科	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
5年	58	34	154	196	170	129	551	430	51	28	4	1
4年	74	43	148	158	199	126	542	481	29	15	2	5

産婦人科	眼 科		耳鼻咽喉科		泌尿器科		その他		合 計		
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	8	8	1	4	5	18	7	2	2	1,020	841
	6	16	3	9	5	27	8	4	1	1,050	851

10 応急処置件数

全搬送人員1,861人に対して、傷病者観察と応急処置が施されています。

	急病	交通事故	一般負傷	左記以外	合計
応急処置対象人員(人)	1,176	120	321	244	1,861
止血	8	3	26	9	46
固定	5	34	24	18	81
人工呼吸	1	0	0	1	2
胸骨圧迫	4	0	0	0	4
心肺蘇生	47	0	2	5	54
酸素吸入	231	5	14	54	304
気道確保	80	0	3	8	91
経口エアウェイ	1	0	0	0	1
喉頭鏡・鉗子	1	0	0	0	1
※ラリゲアルマスク等	28	0	0	4	32
※気管挿管	1	0	0	0	1
以外	49	0	3	4	56
保温	21	1	1	4	27
被覆	6	26	67	17	116
在宅療法継続	20	0	2	0	22
冷却	6	3	2	6	17
除細動	9	0	0	1	10
血圧測定	1,129	119	311	240	1,799
心音・呼吸音聴取	151	22	13	26	212
血中酸素飽和度測定	1,146	120	320	240	1,826
心電図測定	816	29	98	149	1,092
※静脈路確保	33	0	1	3	37
心肺機能停止前	6	0	0	0	6
心肺機能停止後	27	0	1	3	31
※アドレナリン投与	20	0	1	1	22
※血糖測定	5	0	1	0	6
※ブドウ糖投与	4	0	0	0	4
その他	1,149	118	319	238	1,824
合計	4,891	480	1,205	1,020	7,596

※印は、救急救命士の特定行為等

令和5年上半期の救助概要

令和5年上半期における救助出動件数は27件で、前年と比べ14件少なくなっています。

1 救助出動状況

区分		事故種別	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	水	害	械	物	ス	裂	他	計
出動件数 (件)	5年	4	9					13			1	27
	4年	8	10	1				20			2	41
活動件数 (件)	5年	4	4					10			1	19
	4年	8	4	1				12			2	27
救助人員 (人)	5年		7					3			1	11
	4年	4	4	1				7			3	19
出動台数 (台)	5年	5	37					32			2	76
	4年	24	41	3				49			7	124
出動人員 (人)	5年	16	110					90			7	223
	4年	98	116	10				139			23	386

2 発生場所別出動件数

発生場所		事故種別	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ	合
		災	通	難	水	害	械	物	ス	裂	他	計
屋内	住居	1						13				14
	その他の屋内	2										2
屋外	高速道路		1									1
	その他の道路		6									6
	その他の屋外	1	2								1	4
	内水面											0
	外水面											0
	山岳											0
	その他											
合計		4	9	0	0	0	0	13	0	0	1	27

3 事故種別地区別出動状況

事故種別では、建物等による事故が13件で全体の48.1%を占めています。地区別では、三木地区が10件と最も多くなっています。

地区別 \ 事故種別	火災	交通	水難	風水害	機械等	建物等	ガス等	破裂	その他	合計
三木	3	2				5				10
三木南		1								1
別所	1	1				1				3
志染		1				1				2
細川						1			1	2
口吉川		1								1
緑が丘						3				3
自由が丘						1				1
青山										0
吉川		2				1				3
高速道路		1								1
管外										0
合計	4	9	0	0	0	13	0	0	1	27